

豊水

Shizuoka Deep Seawater ARC NEWS

Vol. 20

静岡県水産技術研究所

駿河湾深層水水産利用施設

Suruga-Bay Deep Seawater Aquaculture Research Center
of Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery

藻食性魚類アイゴによるサガラメ・カジメの食害

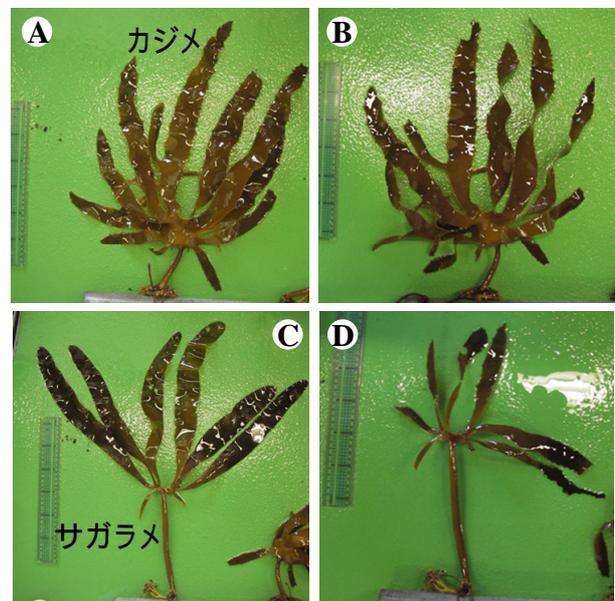
アイゴは主に日本の下北半島以南に分布し、藻類を主とした雑食性です。静岡県御前崎周辺の榛南海域では、サガラメ・カジメ海中林が消失する大規模な磯焼けが発生しており、その持続要因としてアイゴの食害が指摘されています。また残存する海中林や造成した海中林の衰退にも関与していることが報告されています。

この海域にカジメ・サガラメの種苗を移植し、その後の生長を観察した結果、サガラメはカジメよりも食害の被害が大きく、秋季から冬季にかけて葉状部の大部分がアイゴにより被食されていました(下図)。



手前：サガラメ 右奥：カジメ

また、飼育条件下においてアイゴによるカジメおよびサガラメの摂食状況を観察しました。その結果、アイゴはカジメよりもサガラメを多く摂食しました(下図)。今後、アイゴの食性を明らかにすることで、食害対策技術を確立する必要があると考えられます。



A カジメ(試験前) B 試験後

C サガラメ(試験前) D 試験後

(二村和視)